

「北秋田市保育園等整備計画」に関するご意見と市の考え方

ご意見のある箇所	ご意見	ご意見に対する市の考え方
<p>本計画の位置づけと趣旨</p>	<p>・保育園に対するニーズの多様化や、きめ細かな対策が求められていることを承知しながら、当市における喫緊の課題が、検討委員会からの提言に基づく保育園の在り方と判断したのでしょうか。</p> <p>将来を担う北秋田市の宝である子供たちにとっては、養護と教育が一体となったより良い保育環境を整えるために行うことが一番必要なことと思います。</p>	<p>ここで言う「保育園等の在り方」が、単に保育園そのものの在り方のみを指すのではなく、北秋田市の保育に係る様々なことを総合的に示していることはご理解いただけたと思います。</p> <p>ご意見の後段は正に目指すべきことであると、市でも考えております。そのために「市の保育全般がどうあるべきか」について、保護者の方・保育に携わる方・保育園を運営する法人の代表の方などから広く意見を求める必要があると考え、「北秋田市保育園等の在り方検討委員会」を立ち上げたものであり、委員会からの「提言」をもとに「北秋田市保育園等整備計画」を策定したところであります。</p>
<p>保育園の効率的運営について</p>	<p>・鷹巣地区の保育園が定数をオーバーし、鷹巣地区以外が定数に満たないのに鷹巣地区の保育園が民間委託に向けた取り組みをすることが、効率的な運営になるとは考えられないことと思います。</p>	<p>定員を大幅に下回る保育園の統廃合については、整備計画の7)の(2)にありますように、入所児童数が10名を下回る状況になった時点で判断する予定であり、現時点ではまだそこに至ってはいない状況です。</p> <p>また、保育園の民営化は、市の財政的な面で非常に大きな効果があり、それを全体的な保育環境の改善に生かせるものと考えますが、民営化後の保育園の運営も含めて試算した結果、鷹巣地区の公立保育園の民営化が適切であると判断し、先に取り組む計画としております。</p>

<p>保育人材の確保</p>	<p>・当市においては、保育士の人材確保が困難な状況にあるのではなく、正職員としての保育士の募集がないことが問題だと思います。なにも非常勤保育士の給与の改善や、待遇改善が急務と考えることではないことだと思います。</p>	<p>合併以降、北秋田市では正職員としての保育士の採用がなく、保育の経験や知識を引き継ぐという観点からしても、現状が好ましい状況ではないということは市でも認識しておりますので、今後、民営化や統廃合、入所児童数の動向などを踏まえて検討しなければならないと考えております。</p> <p>また、非常勤保育士（のみならず非常勤の職員）の待遇については、正職員と同等の仕事をしていながら昇給もないといった状況は改善すべきだと考え、一部すでに実施しております。</p> <p>国も公表しているところですが、保育士の資格を取得しながら保育士以外の仕事を選ぶ人が約3割に及び、理由として待遇への不安や不満が多く挙げられている状況です。</p> <p>正職・非常勤の違いはありますが、待遇の改善を図ることが人材の確保にもつながっていくものと考えます。</p>
<p>保育園等整備計画 1) 保育ニーズの把握</p>	<p>・これから調査を行おうとしながら、その調査結果などが27年度からの保育園の民間移管に反映できるものでしょうか。</p>	<p>「子ども・子育てに関するニーズ調査」は、平成27年度にスタートする「子ども・子育て支援新制度」に向けて、ほぼ全ての市町村が実施するものであり、当然ながら、調査結果に基づいた計画を平成27年度から反映させていくものです。</p> <p>当市でも、「ニーズ調査」の結果は、民間移管のみならず子どもや子育てへの支援全般に反映させるものであります。</p>
<p>5) 保育の質向上のために</p>	<p>・市の保育園の運営については、法に従い正しく適正に運営されているものと思っておりましたが、「保育士等の配置が十分でないため、研修参加が困難な状況が続いている。」と書かれてあることは、大変遺憾に思います。</p>	<p>誤解があるといけませんので申し上げますが、市内の保育所の保育士の配置はすべて国の基準を満たしております。</p> <p>ただし、保育士の人数に「余裕」がないというのも事実であるため、保育士の確保も含め十分な体制作りを進めるとともに、専門員の配置などにより、これまで不足がちであった部分</p>

		を補い、保育の質の向上に努めて参ります。
6) 保育士確保対策の推進	<p>・この整備計画は26年度から28年度なのに、「保育需要の動向を注視し、平成28年度以降再検討する。」というような項は、計画書に載せる必要はないものと考えます。</p>	<p>正職員としての保育士の確保は、3年度間の計画の中での早期実施が困難と思われ、課題として残る案件ですが、計画の期間が過ぎたらそれでお終いというわけではありません。継続して検討・対処するという市の方針は示さなければならないと考え掲載いたしました。</p>
<p>7) 公立保育園等の効率的運営の推進</p> <p>(1) 公立保育園の民間移管</p>	<p>・「当市内では、歴史と実績を有する民間保育園が複数存在し、子育て世代から高い評価を得ている。」と書かれていますが、このことは、中央保育園にも東保育園にも言えることではないでしょうか。ここには思いを書くのではなく、具体的に民間の保育園が公立保育園より勝っていることなどを掲げ、民間への移管を推進すべきものと考えます。たとえば保育環境が整っていることや、経営状況が良好なことなどがそれと思いますが、この地域にあって、夏の強い日差しを避ける木陰もない狭い園庭で、子供たちの大好きなブランコや、すべり台もない状況は、はたして良好な環境の整った保育園と言えるものでしょうか。</p> <p>・子供たちのことを考えると、市では現在、十分な保育ができる状況にないことを承知しながら、平成27年4月からの民間への移管は、いくら計画とはいえ無理なように思いま</p>	<p>ご指摘の一文については、民間と公立の優劣を表すためのものではございません。全国の、過去の民間移管の経緯等をみますと、「公立の保育園でないと安心できない」や「民間は保育の質が劣る」など、保護者の方のご心配の声が多かったことから、北秋田市の保育所ではそのようなことはないと申し述べたかったものとご理解いただきたく思います。保育園によって異なる部分はありますが、それぞれに、保護者の方のご意見等をうかがいながら保育環境の整備に努めています。また、民営化にあたっては、法人・保護者・市の三者による十分な協議を行い保育の質が確保されることを前提に移管をすすめる方針であります。</p> <p>この項の2つ目のご意見については、先の「保育園の効率的運営について」に関するご意見と重複するものと思っておりますので、そちらをご覧くださいいただきたく思います。民営化にあたって</p>

	<p>す。</p> <p>また、鷹巣以外の保育園については、28年度以降に再検討することにしてはいますが、本当は、定数割れしているこちらの保育園から検討を始めることが筋であったと思います。</p>	<p>は、何よりも子供たちに不利益が生じないように十分な配慮をしたうえで進めることと、その目的が、移管する保育園だけではなく市の保育全体の向上を図ることにあることをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>8) 市内各保育園の 老朽化対策</p>	<p>・この項については、民間移管に要する計画だけではなく、日常的な施設整備の充実分も含み、実施すべき項のように思います。子供の健康を守るための冷暖房設備をはじめ音響機器等の設置や修繕等は、市の保育園担当部署が保育園と連携を図りながら、日頃からより良い保育環境の整備に努め、速やかに取り組む姿勢が必要と考えます。</p>	<p>民間に移管する予定の保育園の整備に関しては、移管後に大規模な整備が必要となり運営を圧迫することがないようにと 考え、事前に必要な整備を施そうというものです。</p> <p>ご意見のとおり、保育環境の維持・整備については「日常的」なものであるべきと考えますが、大規模なもの・高額なもので民間の保育園が自己資金のみで対処するのが困難な場合は、従来の補助制度の利用に加えて市が補助できるような制度の整備も検討しているところであります。</p>